

「令和元年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第4回）」

議事概要

I 日 時

令和2年3月3日（火）～3月10日（火）

※新型コロナウイルス対策のため、参集しての審議を取りやめ、メールによる審議を行った

II 参加委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎寺林 努（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○矢野 奈保子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

① 令和2年3月から6月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件にかかるとの事前点検について

② 令和元年11月から令和2年1月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件の予定価格設定等

（2）その他

V 議事内容

(1)

- ① 令和2年3月から6月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件にかかる事前点検について
- ② 令和元年11月から令和2年1月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告がメールにて行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>複合機の導入の検証を進めていく中で解決すべき課題がでてきたため4月の入れ替えが困難となったとのことだが、契約満了時期が事前にわかっている中で何故課題の認識が遅れたのか、原因究明と改善策を検討しておくべきである。</p> <p>課題の認識が遅れたことにやむを得ない理由がある場合に随契で契約締結することは問題ないと考えますが、あまりルーズな運用にはならないよう留意すべきである。</p>	<p>認証型複合機の導入にあたり、資料上は新機材導入を進められると判断したが、問題が生じる可能性が認められ、実機検証に時間を要したものである。</p> <p>今後、関係部署とよく連携して計画的に進め、作業時間を確保するように努めたい。</p>

(2) その他

令和2年4月～6月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告がメールにて行われた。

以上